

様式第二号の十三(第八条の十七の二関係)

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書	
令和7年5月13日	
福井市長 殿	
提出者	
住所 福井県福井市白方町テクノポート3-3-6	
氏名 新中村化学工業株式会社 福井工場 工場長 荻原 靖	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 0776-85-1110	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量 その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	新中村化学工業株式会社 福井工場
事業場の所在地	福井県福井市白方町テクノポート3-3-6
計画期間	平成7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	E-16(化学工業)
②事業の規模	5,116,565千円(製造品出荷額 前年度実績)
③従業員数	57名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙①参照

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

○環境対策委員会

廃棄物処理に関する検討(廃棄物の発生抑制、適正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する)

委員長：工場長

構成員 廃棄物処理総統括責任者：管理課課長(処理方法の策定、処理計画の作成、委託契約締結及び管理等)

廃棄物管理担当課長：各工場課長(廃棄物の分別、処理施設の運転・維持管理等)

工場長



次長(廃棄物処理統括責任者)



各工場課長(廃棄物管理)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙④のとおり	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃アルカリ、廃酸、廃油、汚泥の分別は正確に行い、保管管理を行っている。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 汚泥、廃油についてはより一層分別細分化できないか検討する。

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 っ た 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	—	—
	自 ら 埋 立 処 分 を 行 う 特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙⑤のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙⑤のとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使 用に関する事項	【前年度（平成 6年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	5904	t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェスト導入済		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トンを超える者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙④

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	①現状	【前年度（ 6 年度）実績】				
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
		排 出 量	780 t	5,073 t	1 t	50 t
		（これまでに実施した取組） 1. 廃酸・廃アルカリ ・製造レサイプの変更の検討を行い、洗浄水及び洗浄用アルカリ量の減量を図る。 2. 廃油 ・脱溶剤効率を上げて発生量を抑える 3. 汚泥 ・製造レサイプの変更の検討を行い、全体量の減量する				
	②計画	【目標】				
		特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
		排 出 量	702 t	4,566 t	1 t	45 t
		（今後実施する予定の取組） 1. 廃酸・廃アルカリ ・製造レサイプの変更の検討を行い、洗浄水及び洗浄用アルカリ量の減量を図る。 2. 廃油 ・分別を行い有効利用する 3. 汚泥 ・製造レサイプの変更の検討を行い、全体量の減量する				

別紙⑤

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
	全処理委託量	780 t	5,073 t	1 t	50 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	780 t	5,073 t	0 t	50 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	780 t	418 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 1. 出来る限り再生利用(リサイクル) 業者や有効利用先を選定する。 2. 委託基準やマニフェスト交付義務等を遵守した上で、処理を委託。				
②計画	【目標】				
	特別管理産業廃棄物の種類	廃酸	廃アルカリ	廃油	汚泥
	全処理委託量	702 t	4,566 t	1 t	45 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	702 t	4,566 t	0 t	45 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	702 t	376 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 1. 出来る限り再生利用(リサイクル) 業者や有効利用先を選定する。 2. 委託基準やマニフェスト交付義務等を遵守した上で、処理を委託。				